



# 敬老乗車証 負担3倍に!!

## 制度廃止につながる異常な市民負担増は許せない!!

敬老乗車証制度について、今年の9月市会に条例改正の提案が予定されています。その提案内容が明らかになりました。変更の1つ目は対象年齢の引き上げです。来年10月から2年に1回1歳ずつ引き上げ、10年かけて75歳にします。変更の2つ目は合計所得金額700万円以上は対象外にします。変更の3つ目は負担金の激増です。3,000円の負担だった方は来年6,000円再来年からは9,000円に。5,000円の方は→10,000円→15,000円に。10,000円の方を2段階に分けます。所得200万円～400万円の方は来年20,000円→30,000円に。所得400万円～700万円の方は来年30,000円→45,000円になります。また、再来年度からバスの回数券を額面1万円まで半額で購入できる制度をつくりまします。これは敬老乗車制度かどちらかを選ばなければなりません。地下鉄は対象外です。負担の限界を超えれば、申請したくてもできません。制度の形骸化につながります。反対の声を大きく広げて、今のままの制度を守りましよう！

＜表2：階層区分及び負担金（年額）の対照表＞

| 現行の階層区分                                  | 現行の額             | 構成比    |   | 見直し後の階層区分                                | 見直し後の額  |                   |
|------------------------------------------|------------------|--------|---|------------------------------------------|---------|-------------------|
|                                          |                  |        |   |                                          | 令和4年度   | 令和5年度～            |
| 市民税非課税                                   | 3,000円<br>（※約3%） | 63.64% | → | 市民税非課税                                   | 6,000円  | 9,000円<br>（※約10%） |
| 市民税課税で、<br>合計所得金額が<br>200万円未満            | 5,000円           | 23.49% |   | 市民税課税で、<br>合計所得金額が<br>200万円未満            | 10,000円 | 15,000円           |
| 市民税課税で、<br>合計所得金額が<br>200万円以上<br>700万円未満 | 10,000円          | 6.60%  |   | 市民税課税で、<br>合計所得金額が<br>200万円以上<br>400万円未満 | 20,000円 | 30,000円           |
| 市民税課税で、<br>合計所得金額が<br>700万円以上<br>（※）     | 15,000円          | 1.07%  |   | 市民税課税で、<br>合計所得金額が<br>400万円以上<br>700万円未満 | 30,000円 | 45,000円           |

（注1）「市民税非課税」欄の（※）は、中高生の市バス・地下鉄連絡定期券との比  
（注2）「市民税課税で、合計所得金額が700万円以上」区分（※）は、見直し後、対象外  
（注3）生活保護世帯等は見直し後も無料



## 行財政改革計画に9,000件を超える市民意見が寄せられる

京都市が6月11日～7月12日の間に、行財政改革計画案に対する市民意見の募集が行われていました。寄せられた意見は何と3,610人の方から9,013件もの意見が寄せられ、関心の高さがうかがえます。入力フォーム、メールが85%、郵送、FAXが14%でした。

分類の仕方にもよりますが、最も多かったのは、「保育園の人件費をはじめとする本市独自補助金への意見」で1200件でした。「保育園の補助金見直しは反対」「市独自の保育士加配の廃止など、未来を生きる

子どもを育てることを考えていない。今後も子育てがしやすい年であってほしい」等です。北陸新幹線に対する意見が269件で「北陸新幹線は不要」「市民負担増を求めるのであれば、計画を中止すべき」等、敬老乗車証に対する意見が537件で「敬老乗車証の見直しは反対」「敬老乗車証はセーフティネットではないので見直すべき」等の意見が寄せられています。市民意見は聞くだけでは、市民に対して失礼です。これらの多くの意見を生かして、市民負担増の見直しをすべきです。



「しっかりと調査を続けます。」と西野市議は話しました。



これまででは自由に近くまで行けた現地には、住民が入れないようにゲートがつけられ「立ち入り禁止」となっていました。見られては困るものがあるのかとの疑問もわいてきました。「産廃をふるい分けて大きな穴に埋めている」との証言もありまします。産廃をどのように処理しているのか、環境局の指導も問われます。

「最近の雨でも下の栗林だったところには土砂が流れてきている」との証言もあります。これは自由な山で、安全に「最近の雨でも下の栗林だったところには土砂が流れてきている」との証言もあります。これは自由な山で、安全に「最近の雨でも下の栗林だったところには土砂が流れてきている」との証言もあります。これは自由な山で、安全に

西側の谷はほとんど埋め立てられていて、以前の姿は全く分かりません。土砂崩れを起こした斜面の下には貯水池や堰堤がつくられています。西側斜面の下はふとん力ゴのような土嚢が並んでいるだけです。「宅地造成等規制法に基づく指導をしている」「元の山より安全になる」と京都市の担当者は言いますが、「最近の雨でも下の栗林だったところには土砂が流れてきている」との証言もあります。

### 議員日誌

違法造成された大岩山の安全は土砂の全量撤去しかない

西野市議は3年前に土砂崩れを起こした大岩山の現状を視察しました。

地元自治会の方や京都民報社の記者も同行しました。